

クローズアップ協議会 委員会活動の紹介-1

今回から「クローズアップ協議会」と題して、協議会内で組織している委員会やワーキンググループについて紹介してまいります。

協議会には3つの委員会と研究会が1つ設置されています。各委員会（研究会含む）は基本的に、「総会」および「理事会」の意向を反映した事業を立案・実施する機関として機能しています。

組織強化委員会は理事会直下に位置し、以下普及委員会、技術委員会、容器包装研究会の各専門委員会を設置しています。同委員会は、主に普及、技術、容器の各正副委員長座長で構成され、事業を総括して各委員会に振り分ける役割です。

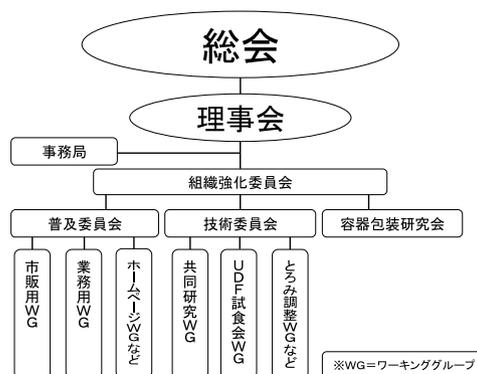
普及委員会では、UDFの普及啓発を行うための手法を審議します。例えば、ホームページ（HP）の制作・活用やパンフレットなど媒体の作成、催事等出展の計画などです。各委員会の直下にはワーキンググループ（WG）が組織され、専門性を高めて事業を審議遂行議します。普及委員会では、市販用WG、業務用WGを恒常的に設置し、他必要に応じたWGも都度立ち上げています。

技術委員会では、UDF運用のベースとなる自主規格補完のための研究活動が主たるテーマです。本業界は、物性測定方法の考え方や新しい製造技術など更新される事項も多いです。技術委員会ではこれらの情報を整理・共有・更新、または新たな発想を加えて、UDF自主規格の補完に努めています。WGは、共同研究、UDF試食会といった事業テーマごとに設置され、学術機関との連携や学会発表なども手掛けます。

容器包装研究会では、容器のユニバーサルデザインの観点から、UDFにふさわしい容器のあり方を常に検討し、成果物をUDF自主規格に加えるなどの作業を実施しています。これまでには、識別しやすい容器開封口表示方法などが自主規格化しています。

本会は「協議会」でありますので、事業の立案実行、委員会の運営については、すべて会員企業から

選出された担当で組織し実行しています。次回以降、各委員会にクローズアップしてご紹介します。



【会議、催事等の予定】

6月14日（火）第1回容器包装研究会（缶詰協会会議室）

6月15日（水）第1回技術委員会（オリンピックイン神田会議室）

6月18日（土）第64回『新宿食支援研究会』勉強会（東京在宅サービス）

【UDF商品登録状況（1,768品目・4月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	2	14	0	84	100
冷凍食品	250	207	623	23	0	1,103
常温食品	116	148	192	108	1	565
合計	366	357	829	131	85	1,768

【会員の異動（4月）】

計73社（4月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
（公社）日本缶詰びん詰レトルト食品協会内
TEL 03-5256-4801
FAX 03-5256-4805
<http://www.udf.jp/>